

# 充実した研修体制で提案力向上へ



安部整さん

格すると在宅の現場に出て福祉用具選定の業務に従事することができる。合格まで半年から1年程度かかる。

福祉用具貸与事業所  
イーライフ(横浜市、篠本高基社長)は、教育機関「COLLEGE+E

カレッジ」を社内に立ち上げ、専門性の高い福祉用具専門相談員の育成と、全社で統一した福祉用具選定方法の構築に取り組んでいる。

スペシャリスト育成プロジェクトCOLLEGE+Eカレッジ責任者の安部整さんは、「福祉用具専門相談員の仕事は担当者ごとに提案力・対応力が変わってしまう」という課題があった。また、教育する人によって教える内容も異なり、統一された研修やマニュアルがなかった」と経緯を説明する。

入社後は▽ロードマップに沿った業務学習▽社内の福祉用具講習「COLLEGE+Jr(カレッジユニア)」▽オンライン勉強会「CATALOG(カタログ)」――を並行して、それぞれの試験に合

域から評価され、ケアマネジャーから終末期や筋萎縮性側索硬化症(ALS)、自立を希望する利用者などの依頼も多い。最終期の場合には床ずれ予防のほか、安楽な呼語つた。

吸確保と安下環境に繋げる、姿勢全般摂食嚥下環境に繋げる、姿勢保持や痛み緩和する福祉用具選定に取り組む。発語ができないALS患者に痛みを伝えられることで、発語ができる。また、車いすの角度を車いすに倒すことでの呼吸しやすさを確保した。ケーブルもあった。

商品を事前に調べ、自ら発表するオンライン勉強会。アウトプットすることで福祉用具の知識を深める。

入社1年後にはロールプレイング大会「COLLEGE+KING(カレッジキング)」を開催し、社内外の参加者自身の成長を披露する機会も設けている。

LEGE+KING(カレッジキング)」を開催し、社内外の参加者自身の成長を披露する機会も設けている。

LEGE+KING(カレッジキング)」を開催し、社内外の参加者自身の成長を披露する機会も設けている。

LEGE+Jr(カレッジユニア)」を開催し、社内外の参加者自身の成長を披露する機会も設けている。

LEGE+Jr(カレッジユニア)」を開催し、社内外の参加者自身の成長を披露する機会も設けている。

LEGE+Jr(カレッジユニア)」を開催し、社内外の参加者自身の成長を披露する機会も設けている。

LEGE+Jr(カレッジユニア)」を開催し、社内外の参加者自身の成長を披露する機会も設けている。

LEGE+Jr(カレッジユニア)」を開催し、社内外の参加者自身の成長を披露する機会も設けている。

LEGE+Jr(カレッジユニア)」を開催し、社内外の参加者自身の成長を披露する機会も設けている。

地域から評価される  
される選定力

同社の、利用者の身体状況や希望に合わせた質の高い福祉用具選定が地

師との連携

医師や看護師との連携

医学的知識を身につけること

医師や看護師との連携

医学的知識を身につけること

医学的知識を身につけること

▽現場同行社後のロールプレイング「CREST(クレスト)」――を並行

COLLEGE + E 教育プログラム(同社 HP より抜粋・編集)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
ロードマップ 進捗目安	第1章	第2章			第3章			営業レビュー
CREST 研修内容	—	基礎知識	業務運用確認	事前準備	業務振り返り /選定	シミュレーション		
CATALOG 研修内容	—	特殊寝台 (付属品)	車いす (付属品)	床ずれ防止 用具 体位変換器	歩行器 歩行補助つえ	手すり スロープ	認知症徘徊感知機器 移動用リフト 自動排泄処理装置	実機研修
COLLEGE + Jr 研修内容	—	COLLEGE + KING	第1章 講習 (ベッド・車いす 基本)	第1章 トライ (ベッド・車いす 基本)	第2章 講習 (車いす選定)	第2章 トライ (車いす選定)	第3章 講習 (床ずれ防止用具 選定)	第3章 トライ (床ずれ防止用具 選定)